

編集後記

暖冬が続いて桜も例年より1週間は早かったのに、4月に入ったらかえって春寒で、とても4月とは思えない寒風の日が続いた。しかしさすがに4月も下旬となると陽もおだやかにゆるんで、花々も咲き、過ごしやすい気候になった。5月号、久しぶりの精神科リハビリテーションの特集をお送りする。

今回の特集のために客員編集委員をお願いした蜂矢氏の冒頭の論文は精神医学における疾病と障害の概念をふまえて、精神科リハの全体を見渡して、現状と今後の課題を論じて下さった。つづいて佐々木氏は精神病院の立場から、安斎氏は精神科診療所の立場から、坂口氏はデイケア単独施設の立場から、渡嘉敷氏は精神衛生センターを中心とした地域活動の立場から、それぞれ御自分の体験にもとづいて、多面的に精神分裂者を中心とした精神科リハビリテーションを論じて下さった。精神障害者の問題は今や職業リハビリテーションの分野でも大きくとりあげられはじめており、この

特集は本誌の読者すべてにとって非常に有益なものと思われる。

研究と報告の斉藤氏ほか(Down 症児の言語発達)、伊集院氏ほか(在宅重度身体障害者に対する巡回機能訓練)、症例報告の園田氏ほか(Chorea-acanthocytosis)など、いずれも興味深い内容である。昨年のリハ医学会に出席のため来日されたモスクワ第1医大の Dmitriev 教授の「脊椎外傷、疾患のリハビリテーション」もソ連らしい特徴がうかがえ興味ぶかい。

講座の「歩行」(江原氏)、「評価会議」(伊藤氏ほか)も回を重ねて、ますます興味深くなってきている。また一頁講座で垣内氏が「レクリエーション(生活の快さ)は人間の権利である」といわれているのは重要な指摘だと思う。

もうすぐ6月、学会の季節である。巻頭言でも述べたが今年の総合リハ研究大会とリハ医学会には色々の新しい試みがあるので、ぜひ多数の御参加をお願いしたい。

(上田 敏)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第15巻 第5号)

1987年5月10日発行(毎月1回10日発行)

1部定価 1,650円(配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 21,560円)
(但し、増大号を含む)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝 雄

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷株式会社 電話 (03) 637-0005

広告申込所 株式会社 東広社 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1987, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複製・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。